

令和元年度の森林環境譲与税の用途について

1 森林環境譲与税の活用効果

(1) 森林所有者への意向調査の実施

・町内の私有林人工林(218ha)の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査した。結果、町による管理を希望する所有者と管理契約を締結し、施業を町の取り組みで育成した地域の担い手に委託した。

(2) 作業道開設による森林整備への支援

・作業道が整備されておらず、他の補助事業では対象とならない森林において、木材の搬出を目的とする作業道の整備を支援した。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	6,790
計	6,790

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R1森林環境譲与税	他の財源		
持続可能な林業推進事業	1,386	901	485	優先して森林整備を進める予定のエリアで、所有者調査及び森林整備の意向調査を実施	意向調査実施面積：218ha（633筆、253人）
間伐・作業路開設事業	4,696	4,696	0	国・県の補助事業では対象とならない森林に作業道を整備する場合に補助事業として定額支援2,000円/m上限	森林作業道の開設延長：3,292m
持続可能な林業推進事業	385	385	0	森林の重要性や持続可能な森林整備等の普及のため町民と森林所有者を対象にシンポジウムを開催	開催回数：1回 参加者：150名
持続可能な林業推進事業	1,230	808	422	木育と木材利用推進のため、町産材で制作した積み木を木製品の良さを伝える本と一緒に乳幼児健診（後期）で誕生祝い品として赤ちゃんにプレゼントした。	個数：40個
計	7,697	6,790	907		